

投資者の皆様へ

2016年1月21日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2016年1月20日に国内の株式市場が大きく下落したことを受けて、以下のファンドの基準価額が大きく下落いたしましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1. 基準価額及び下落率(1月20日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI小型成長株ファンド ジェイクール(愛称:jcool)	6,405	▲353	▲5.22
日本小型成長株ファンド(愛称:跳馬)	9,936	▲544	▲5.19
SBI 日本小型成長株選抜ファンド(愛称:センバツ)	9,609	▲527	▲5.20

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2.基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

前頁記載のファンドの投資助言を受けておりますエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からのコメントは以下の通りです。

2016年1月20日の日本株式市場は大きく調整し、ファンドの基準価額も前日比▲5%以上の下落となりました。

株式市場全般については、原油価格が下げ止まらないことに加え、中国経済の景気減速懸念などが投資家心理に水を差す形になっています。1月20日の朝方は前日の米国株式市場の上昇を受けて堅調にスタートしました。しかし、上海株式市場が下落して始まったことを受けて反落、日経平均株価は1年3カ月ぶりの安値水準で取引を終了しました。

ただし、世界経済の成長速度が鈍化しても、依然として全体ではプラス成長が想定されること、日本企業全般の業績も総じて堅調さは維持できることなどを踏まえ、現在の株価は売られ過ぎの水準にあり、経済や業績の実体との乖離が進んでいると判断しています。従いまして、投資家全般が落ち着きを取り戻せば、この過小評価された状況は改善の方向に向かうものと考えています。

弊社では、組入企業の経営者と定期的に個別直接面談調査を実施しながら、業績や成長の変化を入念にチェックしています。こうした地道な調査助言活動を踏まえ、現時点におきましても、組入企業全体の業績は堅調に推移しています。加えまして、日本株式市場の株価水準も、主要各国の中では割安な水準にあります。以上を踏まえ、このように行き過ぎた過小評価は早晩解消に向かうものと見ています。

当社ではエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からの投資助言により、引き続き適時適切な運用を行うべく努力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.24%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 1.0%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬※ 上限 2.16%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。